

氏名	三好勇夫
学位の種類	医学博士
学位授与番号	甲第157号
学位授与の日付	昭和40年3月31日
学位授与の要件	医学研究科内科系内科学専攻 (学位規則第5条第1項該当)
学位論文題目	C ₃ Hf マウス白血病に関する研究
論文審査委員	教授 平木 潔 教授 小川 勝士 教授 小坂 淳夫

学位論文内容要旨

嫌発系マウス白血病の原因を追求する目的で C₃Hf 系マウスに自然発生せるリンパ球性白血病につき同系移植，異種移植，無細胞濾液による移植実験を試みた。

本白血病を同系マウスに1年間に亘って継代移植し，血液学的並びに組織学的検索を行うと共に，腫瘍死迄の潜伏期間の短縮，腹水型白血病への転換等を観察した。

次に上記腹水型白血病細胞を Wistar 系ラット新生児の腹腔及び皮下に移植し注入せる腫瘍細胞数と移植率との関係，異種動物に於ける腫瘍の増殖様式を組織学的に追求した。Wistar 系ラットでは移植された局所に浸潤性のリンパ肉腫を形成するのみで同系マウスに於けるが如き白血病性変化は認められなかった。

最後に本マウス白血病組織より作製せる無細胞濾液を同系マウス新生児に接種し，1年以上生存せる16匹中1匹B型細網肉腫の発生を認めた。本肉腫も亦同系マウスに移植可能で，移植後はA型細網肉腫への変異が見られた。

昭和37年10月発行 Acta Med Okayama 16巻5号

昭和38年2月発行 Acta Med Okayama 17巻1号

昭和38年10月発行 Acta Hemat Jap 26巻5号に掲載

論文審査の結果の要旨

三好勇夫提出の「C₃Hf 系マウス白血病に関する研究」に関する学位論文につき審査した結果の要旨は次の通りである。

白血病嫌疑系 C₃Hf 系マウスに自然発生せるリンパ球性白血病につき同系移植，異種移植，無細胞濾液による移植実験を試みた。第1編では本白血病を同系マウスに1年間に亘って継代移植し，血液学的並びに組織学的検索を行うと共に，腫瘍死までの潜伏期間の短縮腹水型白血病への転換等を観察した。第2編では上記腹水型白血病細胞を Wistar 系ラット新生児の腹腔及び皮下に移植し，注入せる腫瘍細胞数と移植率との関係，異種動物における腫瘍の増殖様式を組織学的に追求した。Wistar 系ラットでは移植された局所に浸潤性のリンパ肉腫を形成するのみで同系マウスにおけるが如き白血病性変化は認められなかった。第3編ではマウス白血病組織より作製せる無細胞濾液を同系マウス新生児に接種し，1年以上生存せる16匹中1匹にB型細網肉腫の発生を認めた。本肉腫も亦同系マウスに移植可能で，移植後はA型細網肉腫への変異が見られた。この実験より白血病嫌疑系 C₃Hf 系マウスの自然発生白血病にはたとえ原因としてウイルスが関与しているとしてもマスクされた状態で存在するか又は極めて少数のウイルス粒子しか存在しないために Bioassay 困難なものと考えられた。

以上の通り本論文は新しい知見に富み，学術上有益であり，著者は医学博士の学位を授与せられるべき学力を有すると認める。